

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成28年12月28日 (2016.12.28)

【公開番号】特開2015-193950(P2015-193950A)

【公開日】平成27年11月5日 (2015.11.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-068

【出願番号】特願2014-72392(P2014-72392)

【国際特許分類】

D 0 6 M 13/11 (2006.01)

D 0 6 M 15/693 (2006.01)

D 0 6 M 15/41 (2006.01)

D 0 6 M 15/00 (2006.01)

F 1 6 L 11/08 (2006.01)

D 0 6 M 101/32 (2006.01)

【 F I 】

D 0 6 M 13/11

D 0 6 M 15/693

D 0 6 M 15/41

D 0 6 M 15/72

F 1 6 L 11/08 A

D 0 6 M 101:32

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月10日 (2016.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエステル繊維が、少なくとも (A) ポリエポキシド化合物、(B) ガラス転移温度 (T<sub>g</sub>) が - 40 ~ 10 であるゴムラテックス、(C) クロロ変性レゾルシンの 3 種を含む第 1 処理剤によって被覆され、さらにその外層としてレゾルシン・ホルマリン・ゴムラテックス (RFL) を含む第 2 処理剤によって被覆されてなるホース補強用ポリエステル繊維コードであって、かつ、第 1 処理剤に含まれる (C) クロロ変性レゾルシンが、第 1 処理剤の固形分 100 重量%に対して、0.2 ~ 10 重量%であること、およびガーレー硬さが 5 mN ~ 80 mNであることを特徴とする ホース補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 2】

前記第 1 処理剤に含まれる (B) ゴムラテックスが、第 1 処理剤の固形分 100 重量%に対して 20 ~ 70 重量%であることを特徴とする請求項 1 に記載のホース補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 3】

前記第 1 処理剤に含まれる (A) ポリエポキシド化合物が、第 1 処理剤の固形分 100 重量%に対して 20 ~ 70 重量%である請求項 1 ~ 2 いずれかに記載のホース補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 4】

前記第 1 処理剤に含まれる (A) ポリエポキシド化合物、(B) ゴムラテックス、(C)

）クロロ変性レゾルシンの３種の合計が、第１処理剤の固形分１００重量％に対して８５～１００重量％である請求項１～３いずれかに記載のホース補強用ポリエステル繊維コード。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

（１）ポリエステル繊維が、少なくとも（Ａ）ポリエポキシド化合物、（Ｂ）ガラス転移温度（ $T_g$ ）が－４０～１０であるゴムラテックス、（Ｃ）クロロ変性レゾルシンの３種を含む第１処理剤によって被覆され、さらにその外層としてレゾルシン・ホルマリン・ゴムラテックス（ＲＦＬ）を含む第２処理剤によって被覆されてなるホース補強用ポリエステル繊維コードであって、かつ、第１処理剤に含まれる（Ｃ）クロロ変性レゾルシンが、第１処理剤の固形分１００重量％に対して、０．２～１０重量％であること、およびガーレー硬さが５ｍＮ～８０ｍＮであるホース補強用ポリエステル繊維コード。